

令和4年度(2022年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第16号

就学時健康診断——11月15日午後

令和5年度入学予定の子供さんを対象に就学時健康診断を実施しました。当日は来年度6年生となる現5年生が受付から健診の誘導案内、付き添い、保護者への引き渡しまで優しくお世話をすることができました。新入学の子供さんも安心して入学できる期待を大きくしたことがその笑顔からうかがえました(写真)。



保護者の皆さまには本校から入学に際しての説明を行い、玉名市教育委員会コミュニティ推進課から「くまもと『親の学び』プログラム」を実施していただきました。具体的には、保護者どうしがお互いを知り合うためのアイスブレイク、十分な睡眠時間と朝ご飯を基盤とした基本的な生活習慣の大切さ、メディアとの上手な付き合い方などです(写真)。



私からは本校の紹介と就学時健康診断、本校の特別支援教育について説明させていただきました。

子供さん一人一人の特別な教育的ニー

ズに応じて、通常の学級から特別支援学校まで多様な学びの場(就学先)があります。また、学びの場は就学後(入学後)も柔軟に見直すことができます。就学から就労(社会参画)につながるまで、子供さん本人や保護者と共に作成・活用・引継ぐ「個別の教育支援計画」をもとに、子供さんのすこやかな育ちと学びを私たちは応援します。世界的な流れである共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム【注】の視点から、誰一人取り残さない伊倉小学校として保護者や地域の皆さまとともに子供たちに自立と共生の力をしっかりと身に付けられるよう育てていきたいと考えています。

【注】障害者の権利に関する条約第24条によれば、「インクルーシブ教育システム」とは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が一般的な教育制度から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられていること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされている。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター

笑顔で出発、感謝で帰着

6年生修学旅行—11月17日～18日

長崎市での平和学習には修学旅行史上初でタブレット端末を持参しました。実施に際しては様々な職種やボランティアの方たちの勤労や活動によって成り立っていることを改めて実感できました。明後日は勤労をねぎらう「勤労感謝の日」ですが、自らの健康や仕事へも感謝したい日です。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索